



西河 巧

一、「農業振興」について 二、「青少年野外活動センター跡地 利用」について

「農業振興」について

問 能勢町において農業は重要な産業であると思う。また、様々な課題があるが、農業の振興について、今後どのような取り組みをしていくのか。

答 本町でも今年の3月に人・農地プランを作成するとともに、両土地改良区と連携し、農地利用集積円滑化事業の枠組みを構築した。その中で実際に後継者不足や、耕作放棄地対策として、事業の拡大や新規就農される方への支援を拡大し、農業の活性化をめざしている。

問 鳥獣害対策の取り組みについて、近年 野生鹿やイノシシ、アライグ

マ、ヌートリア、カラス等の被害が増えていると思うがどのような対策をしているのか。

答 獣害対策については効果的な防護柵整備に係る事業費に対する補助を行っている。また、大阪府猟友会能勢支部の捕獲活動への支援を行っている。

問 実際に農業をやっている農家の意見や、要望を聞く場をもつ予定はあるか。

答 農業については、能勢で、はずすことのできない重要な柱であると思う。農業に従事しておられる方々のご意見を聞く場を持つと言うことも重要であるので、ぜひ検討す

るとともに、様々お聞きした意見を柔軟な形で対応していくということもあわせて進めてまいりたい。

「青少年野外活動センター跡地利用」について

問 野外活動センターの跡地は能勢町にとって大事な観光資源だと思いが今後どう活用しようとしているのか。

答 一定の方向性は今年度中には出した。具体的には、幾つかの企業からの話もあり、それも含めて、自然公園内という区域内にふさわしい形で活用できるか、府とも十分に協議、相談しながら今後進めてまいりたい。

一般質問



大平喜代江

男女共同参画の視点にたった 能勢町行政について

男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国社会を決定する最重要課題として位置づけ、政府をはじめ、全国の市町村にいたるまで担当部署（担当者）を置き、取り組まれており、能勢町の状況を質問しました。

がるようなことについて啓発に努めている。

合は11.1%になっている。

問 町行政における各種審議会等への女性委員の占める割合は、平成24年度実績はどれだけの割合か、また、女性の参画の拡大する上で、数値目標を伺いたい。

答 町行政における各種審議会等への女性委員の占める割合は、平成24年度実績はどれだけの割合か、また、女性の参画の拡大する上で、数値目標を伺いたい。

問 第5次能勢町総合計画における男女共同参画の推進について、家庭や職場、地域で男女がともに活躍できる環境づくりをめざして、啓発活動を行うとあるが、具体的な事業を伺いたい。

答 第5次能勢町総合計画における男女共同参画の推進について、家庭や職場、地域で男女がともに活躍できる環境づくりをめざして、啓発活動を行うとあるが、具体的な事業を伺いたい。

問 男女共同参画に目的を絞ったものは実施していない。毎年開催する人権と平和のつどいや広報ホームページにおいて随時、男女共同参画につな

答 男女共同参画に目的を絞ったものは実施していない。毎年開催する人権と平和のつどいや広報ホームページにおいて随時、男女共同参画につな

問 町女性職員の管理職への登用について、現在の割合は、どれだけか。

答 町女性職員の管理職への登用について、現在の割合は、どれだけか。

問 全管理職が27名で女性管理職は3名でその割

答 全管理職が27名で女性管理職は3名でその割